

BNP パリバグループ

2011 年度第 2 四半期決算報告書



プレスリリース
2011 年 8 月 2 日

ギリシャに対する引当金の計上にもかかわらず純利益を維持

	2011 年度第 2 四半期	前年同期比
営業収益	109 億 8100 万ユーロ	-1.7% (*)
株主帰属純利益	21 億 2800 万ユーロ	+1.1%

ギリシャ支援プログラムによる影響：

- リスク費用：-5 億 3400 万ユーロ
- 持分法による連結：-2600 万ユーロ（保険会社における少数株主持分）

(*) 「コーポレート・センター」における営業収益が、前年同期の高水準に比べて大幅に減少したことによる（前年度同期 2 億 3500 万ユーロであった自社負債の再評価益が今期は 1400 万ユーロとなった）

全事業部門にわたる成長

事業部門合計：	2011 年度第 2 四半期	前年同期比
営業収益	104 億 4700 万ユーロ	+3.4%
営業総利益	41 億 5800 万ユーロ	+3.7%
リスク費用	-8 億 6500 万ユーロ	-20.9%
営業利益	32 億 9300 万ユーロ	+12.9%

国内ネットワークにおける取引量の増加：フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク
預金残高：+7.4% 融資残高：+4.7%

高いソルベンシー

	2011 年 6 月 30 日	2010 年 6 月 30 日
TIER 1 比率	11.9%	10.6%
エクイティ TIER 1 比率	9.6%	8.4%
CRD3 に基づく見積りエクイティ TIER 1 比率	9.0%	

経済サイクル全体にわたる価値創出力

2011 年上半期の 1 株当たり純利益	3.8 ユーロ	2010 年上半期比 +7.3%
2011 年 6 月 30 日時点の 1 株当たり純資産	56.7 ユーロ	2010 年 6 月 30 日比 +7.2%
2011 年上半期の年率換算株主資本利益率	13.8%	2010 年上半期比 +0.1 ポイント

強固なりテール・バンキング市場に支えられ、多様かつ統合されたビジネスモデルの有効性を実証



2011年8月1日にBNPパリバ取締役会が開催され、ミシェル・ペブロー会長が議長を務める中、当グループの2011年度第2四半期の業績が検討され、2011年度上半期決算が承認されました。

四半期純利益 21 億ユーロ

BNPパリバグループの2011年度第2四半期は、強固なリテール・バンキング市場に支えられた、多様かつ統合されたビジネスモデルの有効性を実証し、株主帰属純利益はギリシャに対する引当金計上の影響にもかかわらず、前年同期比1.1%増の21億2800万ユーロとなりました。

不安定な市場環境にもかかわらず、営業収益は、リテール・バンキング事業（1.5%増。PEL/CELの影響を除き、国内のプライベート・バンキングの100%を含む）、資産運用および証券管理事業（6.8%増）、コーポレートバンキング・投資銀行事業（5.7%増）の3つの事業全てにおいて増加しました。しかし、コーポレート・センターにおいては営業収益が大幅に減少し、例外的に高い営業収益を示した前年同期の10億7100万ユーロ（自社負債の再評価益2億3500万ユーロの計上に起因する）に対し、5億3400万ユーロにとどまりました。営業収益のグループ合計は109億8100万ユーロと前年同期比1.7%減とわずかながら減少しました。

営業費用は66億200万ユーロとなり、前年度同期比で2.9%上昇しました。2011年にヨーロッパの多くの国で導入された「システミックリスク」税の影響を除くと、2.1%の増加にとどまりました。

営業総利益は、前年同期比で8.0%減となりました。事業部門合計では、「システミックリスク」税の影響にもかかわらず、3.7%の増加となりました。

リスク費用は、ギリシャ支援プログラムによって認められたギリシャ国債に対する引当金による影響から13億5000万ユーロとなりました。

BNPパリバが関与したギリシャ支援プログラムは、2020年12月31日までに償還期限を迎えるギリシャ国債に対するものです。これらの債券を保有する民間投資家には、21%の損失が発生します。BNPパリバは、2020年12月31日までに償還期限を迎えるギリシャ国債を23億ユーロ保有しています。したがって、当グループは、これに関連した保険業務部門のポートフォリオにおける影響に加え、21%に相当する引当金（合計5億3400万ユーロ）を計上しました。さらに、保険会社において持分法で連結される少数株主持分により、2600万ユーロの損失が生じました。

この一時的な影響を除くと、リスク費用は、前四半期に見られた減少傾向（24.5%減）が継続しており、前年同期が融資残高の66ベースポイントであったのに対し、今四半期は48ベースポイントとなりました。

2011年度上半期全体で、グループの営業収益は、226億6600万ユーロとなり、2010年度上半期に匹敵する水準（0.2%減）となりました。「システミックリスク」税の影響により、営業費用は2.5%増加しました（この影響を除くと1.7%の増加にとどまります）。営業総利益は3.7%減少し、93億3600万ユーロとなりました。ギリシャ支援プログラムに伴う引当金の影響にもかかわらずリスク費用は2011年度上半期中に6.2%減少し、株主帰属純利益は47億4400万ユーロとなり、2010年度上半期比8.1%増加しました。



2011 年度上半期の普通株式 1 株当たり純利益は 3.8 ユーロとなり、2010 年度上半期比 7.3%増となりました。2011 年度上半期の年率換算株主資本利益率は 13.8%となり、2010 年度上半期をわずかに上回りました (0.1 ポイント増)。

BNP パリバ・フォルティスおよび BGL BNP パリバの統合作業は、現在も継続しています。2011 年度上半期には 3 億ユーロのシナジー効果が計上され、2010 年度末に計上された 5 億 9800 万ユーロに追加されました。トルコにおける IT の統合は、3 ヶ月前倒しで完了しました。その結果、シナジー効果全体では、総額 12 億ユーロのシナジー効果を新たな目標とする新計画をも上回る結果となっています。

全ての事業が利益に貢献

当四半期は、不安定な市場環境にもかかわらず、全ての事業部門がグループの業績に貢献し、これにより、BNP パリバの多様かつ統合されたビジネスモデルの回復力の高さが証明されました。

リテール・バンキング事業

リテール・バンキング事業の税引前利益は、前年同期比で 25.5%増加し、リテール・バンキング事業の全業務部門で増益を記録しました。

フランス国内リテール・バンキング (FRB)

顧客の貯蓄および融資ニーズを支援するフランス国内のネットワークの貢献により、全ての顧客セグメントを通じて、前年同期比で取引量が増加しました。融資残高は、住宅ローン (8.6%増) の需要 (ただし、前四半期比では 1.0%の増加にとどまり、減速傾向にあります) が牽引し、4.7%の増加となりました。法人融資残高は、中・小規模企業からの需要 (4.8%増) が寄与した結果、1.2%とわずかに増加しました。当座預金残高が 7.9%、普通預金残高が 12.3%それぞれ増加した結果、預金への純資産流入額は 10.1%増加し、依然として堅調に推移しました。現在 32 万人の月間ユーザーを有する携帯電話サービスの人気 (1 年で 3 倍に増加) が証明するように、商品とサービスのアップグレードも引き続き進めています。最近では、オレンジ社とパートナーシップ契約を締結し、数十万人規模のクライアント向けに初の完全モバイルバンキングサービスを提供することを目指しています。

営業収益⁽¹⁾は、前年同期比で 2.5%増の 17 億 6700 万ユーロとなりました。純利息収入は、大幅な取引量の増加にもかかわらず、Livret A (非課税貯蓄性普通預金) の金利上昇の影響を受け、1.9%⁽¹⁾増にとどまりました。手数料収入は 3.4%⁽¹⁾の増加となりました。

好調な営業収益の伸びに加え、営業費用が 1.3%⁽¹⁾の増加に抑制されたことから、営業総利益は前年同期比 4.7%⁽¹⁾の増加となりました。これにより 63.2%だった営業収益対コスト比率は 0.7 ポイント⁽¹⁾改善しました。

当四半期のリスク費用は、前年同期比で 9 ベーシスポイント低下し、融資残高の 23 ベーシスポイントになりました。

¹ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



フランス国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後の税引前利益（FRBのPEL/CELの影響を除く）は、前年同期比で10.5%増加し、5億3600万ユーロとなりました。

2011年度上半期全体で、営業収益⁽¹⁾が2.5%増加した一方で、営業費用⁽¹⁾が1.3%の増加に抑制されたことから、営業総利益⁽¹⁾は、2010年度上半期比4.6%の増加となりました。また、「システミックリスク」税の影響にもかかわらず、営業収益対コスト比率⁽¹⁾も0.7ポイント改善し、62.3%となりました。この好調な業績に加えリスク費用が30.9%減少したことで、フランス国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の2011年度上半期のFRBの税引前利益（PEL/CELの影響を除く）は、2010年度上半期比で12.4%増加し、11億1500万ユーロとなりました。

BNL バンカ・コメルシアーレ（BNL bc）

BNL bcは、営業推進の取り組みを継続し、ネットワーク開拓の成果を得ています。融資残高は前年同期比で個人融資残高が2.9%増、法人融資残高が5.3%増となり、全体でも4.2%増となりました。預金残高は、前四半期に対しては増加したものの、前年同期比では3.7%の減少となりました。個人は生命保険などのオフバランスの貯蓄商品を好む傾向がありますが、この商品におけるBNL bcのマーケットシェアは、2010年6月30日時点に対し2倍となる10%⁽²⁾以上になっています。また、法人預金については、競争が激しくなっています。

営業収益⁽³⁾は、前年同期比3.6%増の7億8200万ユーロとなりました。これは、好調な取引量の増加と利鞘の維持を受けた純利息収入の増加によるものです。手数料収入もクロスセリングが引き続き好調なことから増加しました。

継続的なネットワーク展開にもかかわらず、営業費用⁽³⁾の増加を前年同期比2.0%増に抑制したことで、BNL バンカ・コメルシアーレの当四半期の営業総利益は5.8%の増加となりました。また、営業収益対コスト比率も0.9ポイント⁽³⁾改善して、57.8%となりました。

リスク費用（98 ベーシスポイント）については、数四半期前から始まった改善傾向が依然として続いています。高い回収率を維持し、前年同期比10 ベーシスポイントの改善となりました。

イタリア国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後のBNL bcの税引前利益は、前年同期比で25.2%増加し、1億2900万ユーロとなりました。これらは好調な業績に加え、イタリア国内での当グループのシナジー効果の強化およびリスク費用の改善傾向などの影響によるものです。

2011年度上半期全体で、純利息収入と手数料収入双方のバランスのとれた増加により営業収益⁽³⁾は、3.3%増加しました。さらに「システミックリスク」税の影響にもかかわらず営業費用⁽³⁾が2.3%とわずかな増加にとどまったことも加わり、営業総利益⁽³⁾は2010年度上半期比で4.7%の増加となりました。また、営業収益対コスト比率⁽³⁾も0.6ポイント改善し、57.3%となりました。リスク費用（2.7%減）も改善に転じ、イタリア国内プライベート・バンキング事業の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業部門に配分した後のBNL bcの税引前利益は、2010年度上半期比で17.3%増加し、2億6500万ユーロとなりました。

BeLux リテール・バンキング

² 出典：ANIA（イタリア保険業協会）のパネル資料。

³ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む。



取引量の増加にも表れているようにベルギーとルクセンブルクのネットワークは、引き続き活発な営業を展開しています。特に個人顧客においては、当座預金（7.9%増）および普通預金（9.7%増）への好調な資産流入により、預金残高が前年同期比8.4%の増加となりました。住宅ローン（14.9%増）の大幅な増加と中小企業向けローンの増加で、融資残高は5.1%増加しました。フォーティス・コマーシャル・ファイナンス⁽⁴⁾の買収も間近に迫っており、グループは、ベルギーにおいてファクタリング業務におけるリーディングポジションを再び目指し、ヨーロッパにおいてもBNPパリバ・ファクターとともにNo.1を目指します。

取引量増加による純利息収入の増加で、営業収益⁽⁵⁾は前年同期比、4.4%増の8億7600万ユーロになりました。

この好調な営業収益に加え、営業費用⁽⁵⁾が前年同期比3.3%増加したことから、Belux リテール・バンキングの営業総利益⁽⁵⁾は、当四半期中7.2%増加し、営業収益対コスト比率も0.8ポイント⁽⁵⁾改善し71%になりました。

今期もリスク費用は21ベースポイントと依然低水準を維持し、前年同期に対し11ベースポイント改善しました。

ベルギー国内プライベート・バンキング事業による純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後のBelux リテール・バンキングの税引前利益は1億9400万ユーロと前年同期比24.4%の増加となりました。

2011年度上半期全体で、営業収益⁽⁵⁾が3.8%増加したことに加え、営業費用が2.7%⁽⁵⁾増加したことから、BeLux リテール・バンキングの営業総利益⁽⁵⁾は2010年度上半期比6.4%増加、営業収益対コスト比率⁽⁵⁾は0.7ポイント改善して69.8%になりました。ベルギー国内プライベート・バンキング事業による純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業に配分した後の税引前利益は4億2100万ユーロと2010年度上半期比7.4%の増加となりました。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国の営業収益は、3億8500万ユーロと、特に米ドルとトルコリラの下落が影響し、6.6%の減少となりました。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は、ウクライナにおける残高が減少したことにより同国で4.1%減少したものの、地中海沿岸諸国で好調な成長（7.8%増）が見られたことから、2.1%の増加になりました。全体として融資残高は前年同期比で5.8%⁽⁶⁾増加し、特にトルコにおいては22.9%⁽⁶⁾の大幅な増加を示しました。また預金は、多くの国の好調な増加に支えられ、8.8%増⁽⁶⁾となりました。

継続的な組織強化の結果、特にポーランドとモロッコにおける営業費用⁽⁶⁾は当四半期中6.1%増加しました。

当業務部門のリスク費用は全ての地域で減少し、前年同期の130ベースポイントに対し85ベースポイントになりました。

リスク費用の減少により、欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益は、前年同期の2000万ユーロに対し、4000万ユーロへと回復しました。

⁴ オランダを除く。買収は当局の承認が条件となります。

⁵ ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む。

⁶ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



2011年度上半期全体で、営業収益⁽⁶⁾が1.8%増加した一方で、営業費用⁽⁶⁾が4.5%増加し、営業総利益⁽⁶⁾は2010年度上半期比6.8%の減少となりました。地中海沿岸諸国における各国（特にエジプトとチェニジア）の前四半期における引当金の一括計上の結果、リスク費用⁽⁶⁾（1.2%増）はほぼ横ばいとなり、税引前利益は2010年度上半期の7100万ユーロに対し4300万ユーロとなりました。

バンクウエスト

米国における経済環境が依然不安定な中で、バンクウエストの営業収益は前年同期比1.0%増（現在の為替レートではユーロに対する米ドルの下落により10.0%の減少）の5億4100万ユーロとなりました。預金残高は、特に当座預金や市場金利型預金などのコア預金において、力強く、継続的な成長（10.6%増⁽⁶⁾）が見られ、3%の増加⁽⁶⁾となりました。住宅ローンは依然として減少しているものの（7%減⁽⁶⁾）、法人融資の回復（7.1%増⁽⁶⁾）が確認され、当四半期中の融資残高の減少は1.2%⁽⁶⁾にとどまりました。

特に法人および中小企業部門における、規制の強化や継続的な事業展開により、営業費用は、低水準だった前年同期に比べ5.5%⁽⁶⁾の増加となり、営業総利益は4.1%⁽⁶⁾の減少となりました。

ローンポートフォリオの継続的な改善により、リスク費用は高水準だった前年同期の132ベースポイントおよび前四半期の78ベースポイントに対し69ベースポイントとさらに低下しました。

バンクウエストの税引前利益は、1億7700万ユーロと前年同期比で28.7%⁽⁶⁾の増加となりました。

2011年度上半期全体で、為替レート変動による影響を除くと、営業収益は2.1%増加し、営業費用は6.8%増加しました（「システミックリスク」税の影響を除くと6.0%増）。2011年度上半期中のリスク費用の大幅な低下（48.1%減⁽⁶⁾）により、税引前利益は、3億4400万ユーロと2010年度上半期比46.9%⁽⁶⁾増加しました。その結果、バンクウエストの2011年度上半期の年率換算税引前株主資本利益率は23%を記録し、強固な収益性を回復する結果となりました。

パーソナル・ファイナンス

インテサ・サンパウロとの合意により、パーソナル・ファイナンスは、イタリアにおける社会的責任を負う主要な消費者信用業者の1つであるフィンドメスティックの買収を6月に完了しました。この取引によって、4つの国内市場の1つであるイタリアでのBNPパリバグループの主要プレーヤーとして強固な地位を確立しました。

特にイタリア、ドイツ、中央ヨーロッパにおける消費者ローンの増加により、パーソナル・ファイナンスの連結融資残高は前年同期比6.4%増加しました。その一方で、フランスおよびイタリアにおける新たな規制の影響から、営業収益は12億9800万ユーロと4.3%の増加にとどまりました。

マーケティング費用と「システミックリスク」税の影響により、営業費用は当四半期中に4.1%増加した一方で、営業総利益は4.4%の増加となりました。

リスク費用は、6四半期前に減少に転じて以来、減少を続けています。当四半期のリスク費用は前年同期の231ベースポイント、前四半期の196ベースポイントに対し183ベースポイントとなりました。



好調な業績に加え、リスク費用が減少したことから、税引前利益は前年度同期比で大幅に増加し、2億9900万ユーロ（52.6%増）となりました。

2011年度上半期全体で、営業収益が2010年度上半期比3.8%増加した一方で、営業費用が3.6%増加したことから、営業総利益は4.0%の増加となりました。営業収益対コスト比率は、0.1ポイント改善し、46.4%となりました。2011年度上半期中、リスク費用が17.0%減少したため、税引前利益は5億9600万ユーロとなり、2010年度上半期比57.3%と大幅に増加しました。

エクイップメント・ソリューション

中古車両価格の回復、Arvalのリース残高の増加（14.0%増）、保有リース車両の増加（8.7%）に加え、リーシング・ソリューションの営業収益の回復により、当業務部門の営業収益は、前年同期比4.4%増加し、4億200万ユーロとなりました。また、営業費用は7.4%増、営業総利益は1.5%増となりました。

リスク費用が3100万ユーロと大幅に減少（55.7%減）した結果、税引前利益は1億6900万ユーロと大幅に増加しました（前年同期比44.4%増）。

2011年度上半期全体で、営業収益は9.8%増加、営業費用は7.1%増加し、その結果、営業総利益は12.7%増加しました。この好調な業績に加え、リスク費用の大幅な減少（66.7%減）により、当業務部門の税引前利益は3億6400万ユーロとなり、2010年度上半期比80.2%と大幅に増加しました。

資産運用および証券管理事業

資産運用および証券管理事業は、統合的なビジネスモデルの一環として、顧客の資産を集約・管理・保護・運用する一貫した相互補完体制により、顧客のリスク回避志向に象徴される困難な状況下において、好調な業績を上げました。

資産運用および証券管理事業の営業収益は16億2300万ユーロと前年同期比6.8%の増加となりました。これには保険業務部門における15.6%の増加が貢献しています。これは、契約残高の増加と短期金利の上昇がもたらしたフランス国外の保障保険商品と証券管理業務部門の好調な業績（10.7%増）によるものです。富裕層向け資産運用業務部門では、営業収益が1.2%増加しました。これは、資産管理・不動産運用サービスの好調な業績が寄与しています。

営業費用の増加が限定的であったため（4.0%増）、資産運用および証券管理事業の営業収益対コスト比率は、1.9ポイント改善し、営業総利益は13.4%増加しました。この好調な業績に加え、ギリシャ支援プログラムによるリスク費用への影響（1700万ユーロの損失）や持分法が連結決算に与えた影響（2600万ユーロの損失）があったものの、資産運用部門において保有株式を一括処分したこと（6700万ユーロ）により、当事業の税引前利益は5億4900万ユーロと前年同期比15.6%の増加となりました。

運用資産残高は8960億ユーロで、2010年6月30日比2.5%の増加となり、また2011年3月31日比ではわずかな減少（0.8%減）となっています。

2011年度上半期全体で、貯蓄市場が厳しい市場環境にある中、資産運用および証券管理事業では、52億ユーロの資産流入となりました。資産管理部門（特にアジアと国内市場）で77億ユーロ（年間資産流入率6.1%）、個人投資家部門（特にドイツ）で13億ユーロ、保険部門（イタリア、



ルクセンブルグ、台湾)で39億ユーロと非常に好調な資産流入があり、資産運用部門の資産流出(79億ユーロ)を上回りました。

資産運用および証券管理事業の営業収益は32億2800万ユーロで、2010年度上半期比9.4%の増加となりました。営業費用の増加(6.9%増)が営業収益の増加を下回ったことから、営業総利益が大幅に増加し(15.3%増)、営業収益対コスト比率は1.6ポイント改善しました。税引前利益は、10億9500万ユーロと2010年度上半期比16.6%増加しました。

コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業

不安定な市場と規制環境の変化にかかわらず、資本市場商品とファイナンス・ソリューションを併せて顧客に提供するビジネスモデルの多様性が功を奏し、CIB事業は、今四半期、総じて堅調な業績を上げました。

CIB事業の営業収益は28億7800万ユーロとなり、前年同期比5.7%増加しました。株式およびアドバイザリー業務部門の業績が好調であったことに加え、債券部門の営業収益の減少がわずかであったこと、ファイナンス業務部門の業績が回復傾向にあることがその要因となっています。

債券市場が非常に不安定であったことに象徴されるように、市場は非常に厳しい状況にありましたが、資本市場業務部門の営業収益は17億8600万ユーロと前年同期比16.7%増加しました。これは、ヨーロッパにおける債券業務の主要フランチャイズであることに加え、米国とアジアでのビジネスの拡大、エクイティ・デリバティブにおけるグローバル・リーダーとしての地位の獲得といった多様な事業ミックスが寄与した結果といえます。

フィクスド・インカム部門の営業収益は、特に債券およびクレジット市場のボラティリティが高かったことや投資家および発行体の模様眺めの傾向が影響し、前年同期比12.2%減少し、11億800万ユーロとなりました。しかしながら、当業務部門は、ユーロ建て債券発行で第1位、全通貨にわたる国際債券発行で第4位を維持し、当業務部門のフランチャイズの強みと対顧客業務への注力を改めて示しました。エネルギーおよびコモディティ・デリバティブの分野では、不安定な市場環境の中、好調な業績を上げました。

株式およびアドバイザリー業務部門の営業収益は6億7800万ユーロで、前年同期の非常に低い水準より2倍以上(2.5倍)の増加となりました。顧客の需要は低迷したものの、デリバティブと仕組商品では、低リスクで大きな営業収益を上げることができました。これには、主に機関投資家向けソリューションの展開が貢献しました。M&A市場は回復しつつあり、BNPパリバは、2011年度上半期の公表案件で、ヨーロッパで8位にランクされ、ヨーロッパ・中東・アフリカで発行されたエクイティ・リンク商品では2位にランクされました(出典: Dealogic)。

新たな規制環境への対応や米ドルの下落(11.6%減)が、ファイナンス業務部門の残高に重くのしかかりました。営業収益は、10億9200万ユーロと記録的高水準であった前年同期に対し8.5%の減少となりました。しかしながら、ストラクチャード・ファイナンスにおいて、テレコム、エネルギー、コモディティ・ファイナンスの手数料収入に支えられ、高い営業収益を上げました。フロー商品に関しては、引き続きあらゆる地域で事業展開を進めており、取引量の増加が利鞘の低下を補いました。

CIB事業の営業費用は、前年同期比7.6%増の16億1300万ユーロとなりました。「システミックリスク」税の影響を除くと、増加は5.4%と限定的ですが、アジア太平洋地域における継続的な



事業展開に関連したスタッフの増加にその一因がありました。営業総利益は当四半期において3.3%増加しました。

当四半期も、引当金の戻入れが新たに発生した引当金を上回りました。差額は前年同期の4100万ユーロのプラスに対し、2300万ユーロのプラスとなりました。CIB事業の当期の税引前利益は2.4%増の13億2800万ユーロとなりました。

2011年度上半期全体で、CIBの営業収益は63億4000万ユーロとなり、高水準であった2010年度上半期に対しわずかに2.6%減少し、また営業費用は2.0%増加しました。「システミックリスク」税の影響を除くと営業費用は0.4%の増加となっており、アジアにおけるスタッフ増加の影響はフォルティスのシナジー効果によって相殺される形となりました。営業収益対コスト比率は低い水準であった2010年度上半期比2.4ポイント増の54.2%であり、引き続き業界最良水準を維持しています。リスク費用は2010年度上半期の1億7900万ユーロに対し、引当金の戻入れの影響から700万ユーロのプラスとなっています。税引前利益は29億6300万ユーロとなり、2010年度上半期比1.6%とわずかに減少しました。

資本市場業務部門の取引先リスクの減少およびファイナンス事業部門のローン残高が低水準であったこともあり、2011年度上半期のCIB事業への資本配賦が8.5%削減される中で、良好な業績を維持しました。

コーポレート・センター

コーポレート・センターからの営業収益は、グループの自社負債の再評価益2億3500万ユーロ（今期は1400万ユーロの利益）およびBNPパリバ・プリンシパル・インベストメントの多額の営業収益（当期9400万ユーロに対し、1億5800万ユーロ）などの影響から高水準であった前年同期の10億7100万ユーロに対し、5億3400万ユーロとなりました。銀行勘定の公正価値に対する調整額（買収価格会計）も、前年同期の1億7700万ユーロに対し1億4200万ユーロに減少しました。

営業費用は3億1300万ユーロ（前年同期は3億2000万ユーロ）となりましたが、これには1億4800万ユーロの事業再構築費用（前年同期は1億8000万ユーロ）が含まれています。

リスク費用は4億8500万ユーロとなりました。これは支援プログラムにおいて認められたギリシャ国債（23億ユーロ）に対する引当金の影響によるものです。支援プログラムに基づいて交換される可能性を考慮し、損益計算書において額面金額の21%（すなわち5億1600万ユーロ）の公正価値の減損が計上されています。

最後に、その他の営業外項目において、BNPパリバ・カーディフによるアンタン・エパーニュ・ペンションの買収から生じた5100万ユーロの負ののれんによる利益を計上しています。

その結果、コーポレート・センターの当四半期の税引前損失は、前年同期の6億8000万ユーロの利益に対し、1億5900万ユーロの損失となりました。

2011年度上半期全体で、コーポレート・センターの営業収益は、2010年度上半期の15億7200万ユーロに対して、11億3800万ユーロとなりました。これについては、自社債務の評価益の減少（前年同期の2億600万ユーロから1400万ユーロに減少）がその一因となっています。営業費用は事業再構築費用が減少したことから（2010年度上半期の3億2300万ユーロから2億7200万ユーロに減少）、2010年度上半期の6億600万ユーロから5億8200万ユーロに減少しました。



最後に、リスク費用は、ギリシャ国債に対する引当金の影響により前年同期の 4000 万ユーロの戻入れに対し、4 億 5700 万ユーロとなりました。

コーポレート・センターの 2011 年度上半期の税引前利益は、2010 年度上半期の 10 億 6500 万ユーロに対し、1 億 6700 万ユーロとなりました。

*
* *

広範囲かつ多様な流動性へのアクセスと高水準のソルベンシー

BNP パリバグループは多様な資金へのアクセス能力および強い信用力により、有利な流動性環境を享受しています。2011 年度に予定されていた 350 億ユーロの中長期債発行プログラムは、困難な市場環境にもかかわらず平均償還期限 6 年という競争力のある条件で、すでに全てを完了しました。このプログラムによって 200 億米ドルが調達されました。

当グループの短期流動性は積極的に運用されています。金融危機以降、BNP パリバは短期資金調達の平均借入期間を大幅に延長しました。当グループの 3 ヶ月資金調達コストは依然として全ての通貨において LIBOR を下回っています。加えて、当グループは中央銀行に対し 1500 億ユーロの適格担保を差し入れており、そのうち 300 億米ドルは連邦準備制度の適格担保です。

グループの強力な利益創出力により、Tier 1 比率は 2011 年 6 月 30 日現在で 11.9% となり、エクイティ Tier 1 比率は 9.6% となっています。エクイティ Tier 1 比率は、2011 年 3 月 31 日時点と比べて 0.1 ポイント増加していますが、これは期中の事業活動による利益創出（20 ベーシスポイント増）やフィンドメスティックの残りの持分の買収の影響（10 ベーシスポイント減）によるものです。リスク加重資産は 5950 億ユーロと 2011 年 3 月 31 日時点と比較して安定して推移しています。バーゼル 2.5 に基づく見積りエクイティ Tier 1 比率⁽⁷⁾は 9.0% となっています。

*
* *

これらの結果について、最高経営責任者であるボードゥアン・プロは、次のように述べております。

「困難な市場環境の中で、今四半期も、全ての事業部門が前年同期比で業績を改善させ、ギリシャ支援プログラムによる負の影響があったにもかかわらず高水準の利益を維持することに貢献してくれました。

この好調な業績は、当グループの高いソルベンシー比率をより強固なものとし、实体经济へ資金を供給する役割、とりわけ国内市場における積極的な役割を果たす一助となります。

顧客に対し、貯蓄、資金調達、保険およびヘッジへのニーズに応えることで支援を提供し、多大な献身を通じてこの好業績を達成した当グループ社員に感謝したいと思います。」

⁷ 2011 年 12 月 31 日にヨーロッパで締結される CRD3 に基づく計算になります。

連結損益計算書

(単位：百万ユーロ)	2Q11	2Q10	2Q11/ 2Q10	1Q11	2Q11/ 1Q11	1H11	1H10	1H11/ 1H10
営業収益	10,981	11,174	-1.7%	11,685	-6.0%	22,666	22,704	-0.2%
営業費用および減価償却費	-6,602	-6,414	+2.9%	-6,728	-1.9%	-13,330	-13,010	+2.5%
営業総利益	4,379	4,760	-8.0%	4,957	-11.7%	9,336	9,694	-3.7%
リスク費用	-1,350	-1,081	+24.9%	-919	+46.9%	-2,269	-2,418	-6.2%
営業利益	3,029	3,679	-17.7%	4,038	-25.0%	7,067	7,276	-2.9%
関連会社損益	42	26	+61.5%	95	-55.8%	137	94	+45.7%
その他の営業外項目	197	-29	n.s.	-24	n.s.	173	146	+18.5%
営業外損益	239	-3	n.s.	71	n.s.	310	240	+29.2%
税引前利益	3,268	3,676	-11.1%	4,109	-20.5%	7,377	7,516	-1.8%
法人税	-956	-1,248	-23.4%	-1,175	-18.6%	-2,131	-2,436	-12.5%
少数株主帰属純利益	-184	-323	-43.0%	-318	-42.1%	-502	-692	-27.5%
株主帰属純利益	2,128	2,105	+1.1%	2,616	-18.7%	4,744	4,388	+8.1%
営業収益対コスト比率	60.1%	57.4%	+2.7pt	57.6%	+2.5pt	58.8%	57.3%	+1.5pt

BNP パリバの 2011 年度第 2 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示物は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。

2011 年度第 2 四半期のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	コーポレート・ センター	グループ合計
営業収益	5,946	1,623	2,878	10,447	534	10,981
対前年同期比	+1.5%	+6.8%	+5.7%	+3.4%	-50.1%	-1.7%
対前四半期比	-1.1%	+1.1%	-16.9%	-5.7%	-11.6%	-6.0%
営業費用および減価償却費	-3,562	-1,114	-1,613	-6,289	-313	-6,602
対前年同期比	+1.1%	+4.0%	+7.6%	+3.2%	-2.2%	+2.9%
対前四半期比	+1.1%	+0.1%	-11.6%	-2.6%	+16.4%	-1.9%
営業総利益	2,384	509	1,265	4,158	221	4,379
対前年同期比	+2.1%	+13.4%	+3.3%	+3.7%	-70.6%	-8.0%
対前四半期比	-4.3%	+3.5%	-22.8%	-10.0%	-34.0%	-11.7%
リスク費用	-869	-19	23	-865	-485	-1,350
対前年同期比	-23.7%	n.s.	-43.9%	-20.9%	n.s.	+24.9%
対前四半期比	-7.2%	n.s.	n.s.	-8.7%	n.s.	+46.9%
営業利益	1,515	490	1,288	3,293	-264	3,029
対前年同期比	+26.7%	+7.9%	+1.7%	+12.9%	n.s.	-17.7%
対前四半期比	-2.6%	-1.4%	-20.6%	-10.4%	n.s.	-25.0%
関連会社損益	29	-8	13	34	8	42
その他の営業外項目	6	67	27	100	97	197
税引前利益	1,550	549	1,328	3,427	-159	3,268
対前年同期比	+26.6%	+15.6%	+2.4%	+14.4%	n.s.	-11.1%
対前四半期比	-3.2%	+0.5%	-18.8%	-9.4%	n.s.	-20.5%

(単位：百万ユーロ)	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	コーポレート・ センター	グループ合計
営業収益	5,946	1,623	2,878	10,447	534	10,981
前年同期	5,859	1,520	2,724	10,103	1,071	11,174
前四半期	6,014	1,605	3,462	11,081	604	11,685
営業費用および減価償却費	-3,562	-1,114	-1,613	-6,289	-313	-6,602
前年同期	-3,524	-1,071	-1,499	-6,094	-320	-6,414
前四半期	-3,522	-1,113	-1,824	-6,459	-269	-6,728
営業総利益	2,384	509	1,265	4,158	221	4,379
前年同期	2,335	449	1,225	4,009	751	4,760
前四半期	2,492	492	1,638	4,622	335	4,957
リスク費用	-869	-19	23	-865	-485	-1,350
前年同期	-1,139	5	41	-1,093	12	-1,081
前四半期	-936	5	-16	-947	28	-919
営業利益	1,515	490	1,288	3,293	-264	3,029
前年同期	1,196	454	1,266	2,916	763	3,679
前四半期	1,556	497	1,622	3,675	363	4,038
関連会社損益	29	-8	13	34	8	42
前年同期	26	19	18	63	-37	26
前四半期	48	35	10	93	2	95
その他の営業外項目	6	67	27	100	97	197
前年同期	2	2	13	17	-46	-29
前四半期	-2	14	3	15	-39	-24
税引前利益	1,550	549	1,328	3,427	-159	3,268
前年同期	1,224	475	1,297	2,996	680	3,676
前四半期	1,602	546	1,635	3,783	326	4,109
法人税						-956
少数株主帰属純利益						-184
株主帰属純利益						2,128



2011 年度上半期のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	コーポレート・ センター	グループ合計
営業収益	11,960	3,228	6,340	21,528	1,138	22,666
対前年同期比	+2.5%	+9.4%	-2.6%	+1.9%	-27.6%	-0.2%
営業費用および減価償却費	-7,084	-2,227	-3,437	-12,748	-582	-13,330
対前年同期比	+1.9%	+6.9%	+2.0%	+2.8%	-4.0%	+2.5%
営業総利益	4,876	1,001	2,903	8,780	556	9,336
対前年同期比	+3.3%	+15.3%	-7.5%	+0.6%	-42.4%	-3.7%
リスク費用	-1,805	-14	7	-1,812	-457	-2,269
対前年同期比	-20.9%	n.s.	n.s.	-26.3%	n.s.	-6.2%
営業利益	3,071	987	2,910	6,968	99	7,067
対前年同期比	+26.0%	+13.2%	-1.7%	+11.1%	-90.2%	-2.9%
関連会社損益	77	27	23	127	10	137
その他の営業外項目	4	81	30	115	58	173
税引前利益	3,152	1,095	2,963	7,210	167	7,377
対前年同期比	+26.0%	+16.6%	-1.6%	+11.8%	-84.3%	-1.8%
法人税						-2,131
少数株主帰属純利益						-502
株主帰属純利益						4,744
年率換算株主資本純利益率						13.8%



四半期決算

(単位：百万ユーロ)

	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
グループ事業						
営業収益	11,530	11,174	10,856	10,320	11,685	10,981
営業費用および減価償却費	-6,596	-6,414	-6,620	-6,887	-6,728	-6,602
営業総利益	4,934	4,760	4,236	3,433	4,957	4,379
リスク費用	-1,337	-1,081	-1,222	-1,162	-919	-1,350
営業利益	3,597	3,679	3,014	2,271	4,038	3,029
関連会社損益	68	26	85	89	95	42
その他の営業外項目	175	-29	52	-7	-24	197
税引前利益	3,840	3,676	3,151	2,353	4,109	3,268
法人税	-1,188	-1,248	-951	-469	-1,175	-956
少数株主帰属純利益	-369	-323	-295	-334	-318	-184
株主帰属純利益	2,283	2,105	1,905	1,550	2,616	2,128
営業収益対コスト比率	57.2%	57.4%	61.0%	66.7%	57.6%	60.1%

(単位:百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む*)						
営業収益	1,743	1,718	1,689	1,674	1,789	1,773
うち受取利息純額	1,015	1,006	986	971	1,043	1,037
うち手数料	728	712	703	703	746	736
営業費用および減価償却費	-1,085	-1,102	-1,156	-1,171	-1,099	-1,116
営業総利益	658	616	533	503	690	657
リスク費用	-122	-111	-107	-142	-80	-81
営業利益	536	505	426	361	610	576
営業外損益	0	1	2	1	1	0
税引前利益	536	506	428	362	611	576
資産運用および証券管理事業帰属利益	-33	-27	-28	-28	-34	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	503	479	400	334	577	542
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.9

(単位:百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
PEL/CELの影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む*)						
営業収益	1,747	1,724	1,702	1,676	1,791	1,767
うち受取利息純額	1,019	1,012	999	973	1,045	1,031
うち手数料	728	712	703	703	746	736
営業費用および減価償却費	-1,085	-1,102	-1,156	-1,171	-1,099	-1,116
営業総利益	662	622	546	505	692	651
リスク費用	-122	-111	-107	-142	-80	-81
営業利益	540	511	439	363	612	570
営業外損益	0	1	2	1	1	0
税引前利益	540	512	441	364	613	570
資産運用および証券管理事業帰属利益	-33	-27	-28	-28	-34	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	507	485	413	336	579	536
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.9

(単位:百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)						
営業収益	1,683	1,663	1,634	1,620	1,728	1,711
営業費用および減価償却費	-1,057	-1,075	-1,130	-1,144	-1,072	-1,088
営業総利益	626	588	504	476	656	623
リスク費用	-123	-109	-106	-143	-80	-81
営業利益	503	479	398	333	576	542
営業外損益	0	0	2	1	1	0
税引前利益	503	479	400	334	577	542
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.9

*税引前利益の計算には、プライベート・バンキングの100%を含む

(単位：百万ユーロ)

	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
BNL バンカ・コメルシアレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む*)						
営業収益	759	755	765	781	782	782
営業費用および減価償却費	-433	-443	-438	-484	-444	-452
営業総利益	326	312	327	297	338	330
リスク費用	-200	-205	-209	-203	-198	-196
営業利益	126	107	118	94	140	134
営業外損益	0	-2	-1	1	0	0
税引前利益	126	105	117	95	140	134
資産運用および証券管理事業帰属利益	-3	-2	-3	-3	-4	-5
BNL bc の税引前利益	123	103	114	92	136	129
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9

(単位：百万ユーロ)

	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
BNL バンカ・コメルシアレ (イタリア国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)						
営業収益	751	746	757	772	773	771
営業費用および減価償却費	-428	-436	-434	-478	-439	-446
営業総利益	323	310	323	294	334	325
リスク費用	-200	-205	-208	-204	-198	-196
営業利益	123	105	115	90	136	129
営業外損益	0	-2	-1	2	0	0
税引前利益	123	103	114	92	136	129
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9

(単位：百万ユーロ)

	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む*)						
営業収益	867	839	840	842	895	876
営業費用および減価償却費	-601	-602	-583	-634	-614	-622
営業総利益	266	237	257	208	281	254
リスク費用	-15	-66	-71	-67	-35	-46
営業利益	251	171	186	141	246	208
関連会社損益	1	3	2	-6	2	2
その他の営業外項目	2	0	3	-1	0	2
税引前利益	254	174	191	134	248	212
資産運用および証券管理事業帰属利益	-18	-18	-12	-16	-21	-18
BeLux の税引前利益	236	156	179	118	227	194
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	2.9	2.9	2.9	2.9	3.1	3.1

(単位：百万ユーロ)

	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)						
営業収益	834	807	810	810	856	838
営業費用および減価償却費	-585	-588	-566	-615	-596	-602
営業総利益	249	219	244	195	260	236
リスク費用	-16	-66	-70	-70	-35	-46
営業利益	233	153	174	125	225	190
関連会社損益	1	3	2	-6	2	2
その他の営業外項目	2	0	3	-1	0	2
税引前利益	236	156	179	118	227	194
資本配賦 (十億ユーロ、年初来累計)	2.9	2.9	2.9	2.9	3.1	3.1

*税引前利益の計算には、プライベート・バンキングの100%を含む

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
欧州・地中海沿岸諸国						
営業収益	410	412	409	451	404	385
営業費用および減価償却費	-306	-325	-329	-343	-308	-308
営業総利益	104	87	80	108	96	77
リスク費用	-68	-76	-93	-109	-103	-47
営業利益	36	11	-13	-1	-7	30
関連会社損益	15	9	17	10	11	12
その他の営業外項目	0	0	4	-2	-1	-2
税引前利益	51	20	8	7	3	40
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	2.3	2.3	2.4	2.5	2.7	2.7

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
バンクウェスト						
営業収益	533	601	599	551	555	541
営業費用および減価償却費	-288	-322	-320	-320	-314	-302
営業総利益	245	279	279	231	241	239
リスク費用	-150	-127	-113	-75	-75	-62
営業利益	95	152	166	156	166	177
営業外項目	1	1	2	0	1	0
税引前利益	96	153	168	156	167	177
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	3.1	3.2	3.3	3.2	3.0	3.0

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
パーソナル・ファイナンス						
営業収益	1,255	1,245	1,247	1,274	1,297	1,298
営業費用および減価償却費	-573	-589	-560	-589	-591	-613
営業総利益	682	656	687	685	706	685
リスク費用	-522	-486	-467	-438	-431	-406
営業利益	160	170	220	247	275	279
関連会社損益	16	21	22	24	21	18
その他の営業外項目	7	5	-1	0	1	2
税引前利益	183	196	241	271	297	299
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
エクイップメント・ソリューション						
営業収益	346	385	369	365	401	402
営業費用および減価償却費	-189	-189	-198	-207	-202	-203
営業総利益	157	196	171	158	199	199
リスク費用	-65	-70	-60	-60	-14	-31
営業利益	92	126	111	98	185	168
関連会社損益	-9	-7	-6	-9	13	-3
その他の営業外項目	2	-2	2	-1	-3	4
税引前利益	85	117	107	88	195	169
資本配賦（十億ユーロ、年初来累計）	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
資産運用および証券管理						
営業収益	1,431	1,520	1,513	1,632	1,605	1,623
営業費用および減価償却費	-1,012	-1,071	-1,073	-1,141	-1,113	-1,114
営業総利益	419	449	440	491	492	509
リスク費用	-1	5	18	-1	5	-19
営業利益	418	454	458	490	497	490
関連会社損益	24	19	8	50	35	-8
その他の営業外項目	22	2	30	7	14	67
税引前利益	464	475	496	547	546	549
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	6.3	6.4	6.5	6.5	6.9	7.0
(単位：百万ユーロ)						
資産管理(富裕層向け資産運用業務)						
営業収益	801	822	825	892	862	832
営業費用および減価償却費	-578	-605	-603	-649	-617	-614
営業総利益	223	217	222	243	245	218
リスク費用	2	7	21	-6	8	0
営業利益	225	224	243	237	253	218
関連会社損益	4	4	3	17	8	5
その他の営業外項目	23	7	4	6	17	67
税引前利益	252	235	250	260	278	290
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5
(単位：百万ユーロ)						
保険						
営業収益	352	371	398	432	425	429
営業費用および減価償却費	-188	-210	-216	-221	-221	-223
営業総利益	164	161	182	211	204	206
リスク費用	-3	-2	-3	5	-3	-19
営業利益	161	159	179	216	201	187
関連会社損益	19	15	5	34	27	-13
その他の営業外項目	-1	-5	26	1	-3	0
税引前利益	179	169	210	251	225	174
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	4.3	4.5	4.5	4.6	5.0	5.1
(単位：百万ユーロ)						
証券管理						
営業収益	278	327	290	308	318	362
営業費用および減価償却費	-246	-256	-254	-271	-275	-277
営業総利益	32	71	36	37	43	85
リスク費用	0	0	0	0	0	0
営業利益	32	71	36	37	43	85
営業外項目	1	0	0	-1	0	0
税引前利益	33	71	36	36	43	85
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
コーポレートバンキング・投資銀行						
営業収益	3,786	2,724	2,901	2,725	3,462	2,878
営業費用および減価償却費	-1,872	-1,499	-1,558	-1,571	-1,824	-1,613
営業総利益	1,914	1,225	1,343	1,154	1,638	1,265
リスク費用	-220	41	-79	-92	-16	23
営業利益	1,694	1,266	1,264	1,062	1,622	1,288
関連会社損益	14	18	17	26	10	13
その他の営業外項目	6	13	-3	3	3	27
税引前利益	1,714	1,297	1,278	1,091	1,635	1,328
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	14.9	14.7	14.8	14.5	13.8	13.5

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
アドバイザーおよびキャピタル・マーケット						
営業収益	2,722	1,530	1,731	1,658	2,326	1,786
営業費用および減価償却費	-1,461	-1,055	-1,129	-1,125	-1,389	-1,163
営業総利益	1,261	475	602	533	937	623
リスク費用	-127	-57	-77	-41	21	9
営業利益	1,134	418	525	492	958	632
関連会社損益	11	15	4	2	0	9
その他の営業外項目	7	12	-8	2	0	8
税引前利益	1,152	445	521	496	958	649
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	6.2	6.1	6.1	5.9	5.4	5.3

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
ファイナンス業務						
営業収益	1,064	1,194	1,170	1,067	1,136	1,092
営業費用および減価償却費	-411	-444	-429	-446	-435	-450
営業総利益	653	750	741	621	701	642
リスク費用	-93	98	-2	-51	-37	14
営業利益	560	848	739	570	664	656
営業外項目	2	4	18	25	13	23
税引前利益	562	852	757	595	677	679
資本配賦(十億ユーロ、年初来累計)	8.7	8.7	8.7	8.6	8.4	8.2

(単位：百万ユーロ)	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11	2Q11
コーポレート・センター (BNPパリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む)						
営業収益	501	1,071	617	120	604	534
営業費用および減価償却費	-286	-320	-452	-479	-269	-313
うち事業再構築費用	-143	-180	-176	-281	-124	-148
営業総利益	215	751	165	-359	335	221
リスク費用	28	12	-44	30	28	-485
営業利益	243	763	121	-329	363	-264
関連会社損益	7	-37	24	-8	2	8
その他の営業外項目	135	-46	15	-14	-39	97
税引前利益	385	680	160	-351	326	-159



四半期純利益 21 億ユーロ 2

全ての事業が利益に貢献 3

リテール・バンキング事業 3

資産運用および証券管理事業 7

コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業 8

コーポレート・センター 9

広範囲かつ多様な流動性へのアクセスと高水準のソルベンシー 10

連結損益計算書 11

2011 年度第 2 四半期のコア事業の業績 12

2011 年度上半期のコア事業の業績 13

四半期決算 14

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2011 年 4 月 21 日に、BNP パリバは、2010 年度決算における四半期決算修正を発表しました。かかる修正には、連結基準値の引上げの結果生じた連結除外または複数の子会社で利用している連結方法の変更および事業部門間の移管を反映しています。これらの修正結果において、2010 年度決算および取引高に関わる数値は、あたかも 2010 年 1 月 1 日に取引が実行されたかのように修正されています。本プレゼンテーションは、修正された 2010 年度の四半期数値に基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者とともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生じる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。